

令和4年度 文京区立窪町小学校 授業改善推進プラン 第 1学年

	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・最後まで話を聞く力を付けることが課題である。 ・声の大きさを考えて、自分の思いや考えをはっきり話す力を付けることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「いつ・どこで・誰が・何を・どうした」という基本的な話型を教え、ポイントを押さえながら聞けるように指導していく。また、簡単な相互評価をさせて、聞く姿勢を意識させていく。 ○意欲的に話をしたくなるような雰囲気作りを工夫するとともに、声の大きさを考えながら話す相手を広げていく。(隣の席→学級全体等)
	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文を正確に読み取る力を付けることが課題である。 ・様々なジャンルの本に対する興味・関心を高めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○音読を取り入れ、声に出して読むことから内容の理解を深めていく。(叙述に即して正確に読み取ることや登場人物や場面の様子を想像力豊かに読み取することを基本に進める。) ○図書の日や朝の読書タイムで読み聞かせを行うとともに、興味・関心が広がるような本を紹介していく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名・片仮名を丁寧に正しく書けるよう指導していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文字の書き順、形、「とめ、はね、はらい、折れ、曲げ」等の基本をきちんと指導していく。また、そのための時間を確保する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・加法や減法の意味を理解し、正確に計算をする力を付けることが課題である。 ・文章題を読み、問われている場面の意味を理解できる力を付けることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○おはじきやブロックなどの半具体物を使って、数や計算についての理解を深めていく。また、計算プリントを活用して習熟を図る。 ○児童の経験や生活に根ざした場面を問題として取り上げ、日常生活の中に計算が活用されていることに気付かせる。また、習熟の段階で、問題作りの活動を取り入れていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活により慣れ親しむため、先生や友達、学校生活を支えている人との関わりを深める必要がある。 ・身近な自然や動植物との関わりに興味・関心をもたせる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校探検を始めとして、教師や友達、上級生、職員等と話ができるような場を意図的に設定していく。体験活動において安全な行動の仕方を身に付けさせる。 ○観察の様子や変化など気付かせたい事柄を具体的に示し、カードにまとめさせる。計画的な掲示で、話題を共有できる場を設定し、関心をもたせていく。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・絵具やクレヨンなどの道具の使い方を少しずつ身に付けさせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な道具の使い方を、その都度確認しながら指導していく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージをふくらませて表現することが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な材料を使用し、実際に手で触らせるなど、体験しながら作品を仕上げていくよう指導していく。

<p>体 育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・固定器具（鉄棒やうんてい、登り棒）を使った遊びに、個人差が見られる。より多くの体験を積ませる必要がある。 ・「並ぶ・整列する」という集団行動を意識させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○休み時間等の時間も利用し、固定器具に触れる機会を増やす。また、固定遊具の安全な使い方をその都度確認しながら指導していく。 ○体育朝会の行進や朝会の整列でも、集団を意識させていく。
<p>道 徳</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の考えをうまく引き出せるようにするのが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発問を精選するとともに、書かせる内容の焦点化を図る。